

## 栗栖川合流点付近

(バス車内での説明：栗栖川合流点付近)

**浅見委員** このあたりは中流の代表的な景観になります。先ほどの山崎町から上流の方ですと、このぐらいの高木のあるところというのがかなり少なかったと思います。ほとんどがネコヤナギといって1m以下だったのに対して、このあたりでは流れが緩やかになってきて砂がたまるようになってきます。そうするとヤナギとか、ヤナギの回りにオギなんかが入ってきて、オギ原が広がるようになります。

もう1つの特徴は、手前側を緩やかな水が流れているのが分かりますでしょうか。本流の方は、向こう側を流れていると思います。この辺りから下流、特に林田川の合流点の少し上流ぐらいになりますと、網状区間といいまして川がいくつかの流れに分かれて、緩やかな部分とか本流の少し流れのきつい部分とかのいろんな環境が出てきます。その緩やかな部分に止水性の魚なんかが出てきたり、あるいは両生類なども生息しています。植生のほうもセリだとかクサヨシなどが出てきて、川本来の河川環境が多様になるところです。そういう面に加えて、やはり本流際には礫原の部分も残っています。そういう環境がセットで残っているのがこのあたりの中流の代表的なところということになります。